

# **(4) 介護保険制度におけるサービスの質の 評価に関する調査研究事業 (速報値)(案)**

# (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

## 1. 調査の目的

- 介護サービスの質の評価のあり方に関する検討のため、利用者の状態の評価に用いられるアセスメント指標に対し、類似の評価項目の同等性等、各アセスメント指標の互換性の検証を行う。
- 上記の検証のため、施設・事業所において日常的に使用しているアセスメント様式等についても併せて調査を行う。

## 2. 調査方法

### A. アセスメント様式等の実態調査(施設・事業所調査)

調査対象	調査方法	発出数・回収状況(※)
介護老人保健施設	アンケート調査。 ID・パスワードを郵送配布し、Webサイト上で回答	【母集団】全国の介護老人保健施設4,225施設 【発出数】悉皆(災害救助法の適用地域を除く、以下同じ) 【回収数】1,362施設【回収率】32.4%【有効回収数】1,043施設【有効回収率】24.8%
介護老人福祉施設		【母集団】全国の介護老人福祉施設7,675施設 【発出数】全国の施設から無作為抽出した3,800施設 【回収数】1,433施設【回収率】37.7%【有効回収数】1,046施設【有効回収率】27.3%
居宅介護支援事業所		【母集団】全国の居宅介護支援事業所39,601事業所 【発出数】全国の事業所から無作為抽出した3,900事業所 【回収数】1,330事業所【回収率】34.1%【有効回収数】959事業所【有効回収率】24.6%

※回収状況は平成29年9月1日時点。Webサイト上において回答を一時保存した施設・事業所も回収数に含め、有効回答からは除外している。

### B. アセスメント様式等の互換性調査(利用者調査)

調査対象	調査方法	発出数・回収状況
上記施設・事業所調査の対象施設・事業所の利用(入所)者	アンケート調査。電子調査票をWebサイト上で取得・回収	【回収数】1,190人(介護老人保健施設)、1,203人(介護老人福祉施設)、1,299人(居宅介護支援事業所)(抽出方法は、各施設・事業所において利用(入所)者50人につき1人) 【有効回収数】1,168人(介護老人保健施設)、1,198人(介護老人福祉施設)、1,272人(居宅介護支援事業所)

※利用者調査は、回答数が施設・事業所ごとに異なり、母数が把握できないため、回収率は算出しない。

## (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

### 3. 調査結果概要

#### A. アセスメント様式等の実態調査(施設・事業所調査)

##### 【主に使用しているアセスメント様式等】

- 施設サービス(介護老人保健施設、介護老人福祉施設)では包括的自立支援プログラム方式を使用している施設が多く、それぞれ29.8%、49.7%であった。
- 居宅介護支援事業所では居宅サービス計画ガイドライン方式を使用している事業所が37.7%と最も多かった。
- 介護老人保健施設ではR4を使用している施設が20.2%であった。
- 介護老人保健施設の22.5%、介護老人福祉施設の26.5%、居宅介護支援事業所の18.9%では独自様式を使用していた。

※施設票・事業所票 問5(2)主に使用しているアセスメント様式と施設種別のクロス集計

図表1 【施設・事業所票】主に使用しているアセスメント様式

	インターライ方式	MDS方式・MDS-HC方式	居宅サービス計画ガイドライン方式	ケアマネジメント実践記録様式	TAI方式・TAI-HC方式	日本訪問看護振興財団方式	日本介護福祉士会方式	包括的自立支援プログラム方式	R4	独自様式	その他	名称不明	合計
介護老人保健施設	6 0.6%	126 12.1%	16 1.5%	13 1.2%	1 0.1%	0 0.0%	3 0.3%	311 29.8%	211 20.2%	235 22.5%	88 8.4%	33 3.2%	1043 100.0%
介護老人福祉施設	2 0.2%	59 5.6%	26 2.5%	14 1.3%	2 0.2%	1 0.1%	4 0.4%	520 49.7%	1 0.1%	277 26.5%	95 9.1%	45 4.3%	1046 100.0%
居宅介護支援事業所	5 0.5%	154 16.1%	362 37.7%	7 0.7%	21 2.2%	4 0.4%	15 1.6%	43 4.5%	3 0.3%	181 18.9%	117 12.2%	47 4.9%	959 100.0%
合計	13 0.4%	339 11.1%	404 13.3%	34 1.1%	24 0.8%	5 0.2%	22 0.7%	874 28.7%	215 7.1%	693 22.7%	300 9.8%	125 4.1%	3048 100.0%

※各サービス別に割合の高い上位2様式を橙色で表示している。

## (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

### A. アセスメント様式等の実態調査(施設・事業所調査)

#### 【独自様式において収集している項目】

- 身体機能・起居動作等に関する項目、生活機能に関する項目、認知機能に関する項目、精神・行動障害に関する項目はいずれのサービスにおいても90%以上であった。
- 介護老人福祉施設では特別な医療、既往等に関する項目、居宅介護支援事業所では特別な医療、既往等に関する項目、社会生活への適応に関する項目も90%以上であった。

※施設票・事業所票 問5(3)独自様式において収集している項目と施設種別のクロス集計

図表 2 【施設・事業所票】独自様式を使用している場合、  
独自様式において収集している項目(複数回答)

	施設・事業 所数	身体機能・ 起居動作等 に関する項 目	生活機能に 関する項目	認知機能に 関する項目	精神・行動 障害に関す る項目	社会生活へ の適応に関 する項目	特別な医 療、既往等 に関する項 目	その他の項 目	わからない
介護老人保健施設	235 100.0%	229 97.4%	230 97.9%	222 94.5%	216 91.9%	187 79.6%	202 86.0%	32 13.6%	8 3.4%
介護老人福祉施設	277 100.0%	273 98.6%	275 99.3%	262 94.6%	257 92.8%	245 88.4%	252 91.0%	47 17.0%	1 0.4%
居宅介護支援事業所	181 100.0%	179 98.9%	178 98.3%	175 96.7%	172 95.0%	175 96.7%	169 93.4%	48 26.5%	2 1.1%
合計	693 100.0%	681 98.3%	683 98.6%	659 95.1%	645 93.1%	607 87.6%	623 89.9%	127 18.3%	11 1.6%

## (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

### B. アセスメント様式等の互換性調査(利用者調査) (1)調査方法

○施設・事業所調査の結果から、使用している施設・事業所が比較的多いアセスメント様式等(MDS方式・MDS-HC方式、居宅サービス計画ガイドライン方式、包括的自立支援プログラム方式、R4)を対象として、データ項目ver.2の回答結果との比較を実施した。

○データ項目ver.2の各項目に対する互換性の検証を行うアセスメント項目として、データ項目ver.1とアセスメント項目の対応表※(平成27年度調査結果)において整理されている項目については「完全一致」または「部分一致(紐付け可)」の項目とし、データ項目ver.2において追加された新規項目については新たに対応する項目を検討した。

※包括的自立支援プログラム方式のうち、データ項目ver.2と対応する項目については居宅サービス計画ガイドライン方式と同一の項目であるため、ここでは居宅サービス計画ガイドライン方式の整理結果に基づいて読み替えを行っている。

図表 3 平成27年度調査結果(抜粋)

データ項目ver.1(抜粋)		1 インターライ方式(居宅版)	1 インターライ方式(施設版)	2 MDS-HC2.0方式	3 居宅サービス計画ガイドライン方式	4 日本訪問看護振興財団方式	5 日本介護福祉士会方式	6 ケアマネジメント実践記録様式	7 TAI方式	8 TAI-HC方式	9 R4(通所)	10 R4(入所)	
情報(1)ト アセスメント	(2)基本動作	寝返り	×	×	×	△	△	△	×	×	◎	◎	
	(2)基本動作	座位の保持	—	—	—	△	△	△	×	×	◎	◎	
	(2)基本動作	座位での乗り移り	×	×	△	△	×	△	×	×	◎	◎	
	(2)基本動作	立位の保持	×	×	—	×	×	△	×	×	◎	◎	
	(3)排泄の状況	尿失禁	△	△	△	△	△	△	×	×	—	—	
	(3)排泄の状況	便失禁	△	△	△	—	△	△	×	×	—	—	
	(3)排泄の状況	パルーンカテーテルの使用	△	△	△	△	△	△	×	×	△	△	
	(4)食事の状況	食事の回数	—	—	—	—	—	◎	◎	—	—	—	—
	(4)食事の状況	食事量の問題	—	—	△	—	—	—	△	—	×	—	—
	(5)視力の状況		△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×

表内の記号について

◎ 完全一致

○ アセスメント様式には無いが、事業所が持つ情報

△ 部分一致(紐付け可)

× 部分一致(紐付け不可)

— 該当項目なし

/ 該当しない

# (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

## B. アセスメント様式等の互換性調査(利用者調査) (1) 調査方法

○データ項目ver.2の項目は以下の通りである。

図表 4 データ項目ver.2(利用者調査票から抜粋)

問2. 利用者の状態に関する情報 記載日時点における状況				
(1) ADLの状況	入浴	<input type="radio"/> 自分でやっている	<input type="radio"/> 自分でやっていない	
	排泄	排尿	<input type="radio"/> 自分でやっている <input type="radio"/> 自分でやっていない	
		排便	<input type="radio"/> 自分でやっている <input type="radio"/> 自分でやっていない	
	食事摂取	<input type="radio"/> 自分でやっている	<input type="radio"/> 自分でやっていない	
	更衣	上衣	<input type="radio"/> 自分でやっている	<input type="radio"/> 自分でやっていない
		下衣	<input type="radio"/> 自分でやっている	<input type="radio"/> 自分でやっていない
	個人衛生(洗顔・整髪・爪切り)	<input type="radio"/> 自分でやっている	<input type="radio"/> 自分でやっていない	
(2) 基本動作	寝返り	<input type="radio"/> 自分でやっている	<input type="radio"/> 自分でやっていない	
	座位の保持	<input type="radio"/> 自分でやっている	<input type="radio"/> 自分でやっていない	
	座位での乗り移り	<input type="radio"/> 自分でやっている	<input type="radio"/> 自分でやっていない	
	立位の保持	<input type="radio"/> 自分でやっている	<input type="radio"/> 自分でやっていない	
(3) 排泄の状況	尿失禁	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 対象外		
	便失禁	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 対象外		
	バルーンカテーテルの使用	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
(4) 食事の状況	食事の回数	_____回		
	食事量の問題	<input type="radio"/> 問題あり ありの場合→ <input type="radio"/> 過食 <input type="radio"/> 小食 <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/> 問題なし ( _____ )		
(5) 視力の状況	<input type="radio"/> 問題あり	<input type="radio"/> 問題なし		
(6) 薬の状況	服薬状況	<input type="radio"/> 薬を飲んでいる <input type="radio"/> 薬を飲んでいない <input type="radio"/> 不明 <input type="checkbox"/> 抗生物質 <input type="checkbox"/> 睡眠薬 <input type="checkbox"/> ステロイド剤 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 抗がん剤 <input type="checkbox"/> 一具体的な薬の種類を記載してください <input type="checkbox"/> 向精神剤 ( _____ ) <input type="checkbox"/> 降圧剤 <input type="checkbox"/> 鎮痛剤 <input type="checkbox"/> 不明		
	飲んでいる場合の薬の種類数	_____種類		
	飲んでいる場合の薬の種類	_____種類		
	義歯の有無	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし	
(7) 歯の状態	歯磨きの実施状況 ※義歯の場合は、手入れを自分でやっているか否かをご記入ください。	<input type="radio"/> 自分でやっている	<input type="radio"/> 自分でやっていない	
(8) 過去3か月間の入院の有無	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし		
(9) 過去3か月間の在宅復帰の有無	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし		
(10) 過去3か月間の骨折の有無	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし		
(11) 過去3か月以内に転倒をしましたか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明			
(12) 過去3か月以内に37.5度以上の発熱がありましたか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明			
(13) 過去3か月以内に誤嚥性肺炎の既往がありますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明			
(14) (介護に注意が必要な)嚥下機能の低下がありますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明			
(15) (介護に注意が必要な)摂食困難な状況がありますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明			
(16) 過去3か月以内に脱水状態になったことはありますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明			
(17) 過去3か月以内に褥瘡の既往がありますか	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明			

(18) 見当識	自分の名前がわかりますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
	その場にいる人がだれかわかりますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
	どこにいるかわかりますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
	年月日がわかりますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
(19) コミュニケーション	相手が話していることを理解していますか。	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない <input type="radio"/> 不明
	周囲の人(友人・知人やスタッフ等)と簡単なあいさつや会話はできますか。	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない <input type="radio"/> 不明
	簡単な文章を読んで理解していますか。	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない <input type="radio"/> 不明
	周囲の人(友人・知人やスタッフ等)と継続的にコミュニケーションが取れていますか。	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない <input type="radio"/> 不明
(20) 認知機能	意識障害がありますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
	長期記憶は保たれていますか。	<input type="radio"/> 保てる <input type="radio"/> 保てない <input type="radio"/> 不明
	簡単な計算はできますか。	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない <input type="radio"/> 不明
	時間管理はできますか。	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない <input type="radio"/> 不明
(21) 周辺症状	暴言・暴行はありますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
	昼夜逆転はありますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
	介護に対する抵抗はありますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
(22) 歩行・移動	不適切な場所での排泄はありますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
	屋内(施設や自宅内で居室から別の部屋へ)の移動をしていますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
	安定した歩行をおこなっていますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
	階段昇降をおこなっていますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
	施設や自宅から外出していますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
	公共交通機関を利用して外出をおこなっていますか。※自家用車での移動含む。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 不明
※介護せずに行っているかをご記入ください。	移動用具の使用状況	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 移動に器具は用いていない <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 一具体的な用具の名称を記載してください ( _____ )

## (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

### B. アセスメント様式等の互換性調査(利用者調査) (2)ADLの状況

#### 【ADLの状況 更衣(上衣)】

○MDS方式・MDS-HC方式においてADL自立度(上半身の更衣)が「自立」の場合、データ項目ver.2のADLの状況・更衣(上衣)を「自分でやっている」と回答した割合は94%であった。「準備のみ」では82%。「観察」では76%であった。

○「部分的な援助」ではデータ項目ver.2のADLの状況・更衣(上衣)を「自分でやっていない」と回答した割合が66%であった。「広範な援助」では86%、「最大の援助」では98%、「全面依存」では100%であった。

※利用者票 問2(1)ADLの状況 更衣(上衣)とMDS方式・MDS-HC方式のADL自立度(上半身の更衣)のクロス集計

図表5 【利用者票】ADL自立度(上半身の更衣)(MDS方式・MDS-HC方式) × ADLの状況・更衣(上衣)(データ項目ver.2)

MDS方式・MDS-HC方式		データ項目ver.2			合計
		ADLの状況 自分でやっている	ADLの状況 自分でやっていない	ADLの状況 無回答	
ADL自立度 上半身の更衣	0 自立:手助け,準備,観察は不要,1~2回のみ	61 94%	3 5%	1 2%	65 100%
	1 準備のみ:物や用具を利用者の手の届く範囲に置くことが3回以上	28 82%	6 18%	0 0%	34 100%
	2 観察:見守り,励まし,誘導が3回以上,あるいは,1回以上の観察と身体援助1~2回との組み合わせ(観察と身体援助合わせて3回以上)	35 76%	11 24%	0 0%	46 100%
	3 部分的な援助:動作の大部分(50%以上)は自分でできる。四肢の動きを助けるなどの体重(身体)を支えない援助を3回以上。それ以上の援助1~2回との組み合わせ(身体援助が3回以上)。	21 33%	42 66%	1 2%	64 100%
	4 広範な援助:動作の大部分(50%以上)は自分でできるが,以下の援助を3回以上。体重を支える援助(たとえば,四肢や体幹の重みを支える)。ある動作要素,あるいはすべての動作について全面援助。	4 14%	25 86%	0 0%	29 100%
	5 最大の援助:動作の一部(50%未満)しか自分でできず,以下の援助を3回以上。体重を支える援助(たとえば,四肢や体幹の重みを支える)。ある動作要素,あるいはすべての動作について全面援助。	1 3%	39 98%	0 0%	40 100%
	6 全面依存:まる3日間すべての面で他者が全面援助した	0 0%	46 100%	0 0%	46 100%
	8 本動作は3日間の間に1回もなかった	0 0%	1 100%	0 0%	1 100%

※アセスメント様式の各選択肢別に割合の高い上位1つを橙色で表示している。

## (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

### B. アセスメント様式等の互換性調査(利用者調査) (2)ADLの状況

#### 【ADLの状況 更衣(上衣)】

○居宅サービス計画ガイドライン方式において「上衣の着脱」が「介助されていない」場合、データ項目ver.2で「自分で行っている」と回答した割合は93%、「見守り等」の場合、75%であった。「一部介助」、「全介助」の場合、「自分で行っていない」と回答した割合がそれぞれ59%、96%であった。

○包括的自立支援プログラム方式において「上衣の着脱」が「自立」の場合、データ項目ver.2で「自分で行っている」と回答した割合は81%、「見守り」の場合、75%であった。「一部介助」、「全介助」の場合、「自分で行っていない」と回答した割合がそれぞれ81%、99%であった。

※利用者票 問2(1)ADLの状況 更衣(上衣)と居宅サービス計画ガイドライン方式、包括的自立支援プログラム方式の上衣の着脱のクロス集計

図表6 【利用者票】上衣の着脱(居宅サービス計画ガイドライン方式)×ADLの状況・更衣(上衣)(データ項目ver.2)

居宅サービス 計画ガイドライン方式		データ項目ver.2		ADLの状況 更衣(上衣)			合計
		自分で行っている	自分で行っていない	無回答			
上衣の着脱	1 介助されていない	141	7	3	151		
		93%	5%	2%	100%		
	2 見守り等	44	14	1	59		
		75%	24%	2%	100%		
	3 一部介助	43	62	0	105		
		41%	59%	0%	100%		
	4 全介助	2	43	0	45		
		4%	96%	0%	100%		

※アセスメント様式の各選択肢別に割合の高い上位1つを橙色で表示している。

図表7 【利用者票】上衣の着脱(包括的自立支援プログラム方式)×ADLの状況・更衣(上衣)(データ項目ver.2)

包括的 自立支援プログラム方式		データ項目ver.2		ADLの状況 更衣(上衣)			合計
		自分で行っている	自分で行っていない	無回答			
上衣の着脱	1 自立	52	12	0	64		
		81%	19%	0%	100%		
	2 見守り	43	14	0	57		
		75%	25%	0%	100%		
	3 一部介助	41	182	2	225		
		18%	81%	1%	100%		
	4 全介助	2	293	1	296		
		1%	99%	0%	100%		

※アセスメント様式の各選択肢別に割合の高い上位1つを橙色で表示している。



## (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

### B. アセスメント様式等の互換性調査(利用者調査) (2)ADLの状況

#### 【ADLの状況 更衣(上衣)】

○R4において整容・衣服が「レベル5」の場合、データ項目ver.2のADLの状況・更衣(上衣)を「自分で行っている」と回答した割合は92%であった。「レベル4」では79%。「レベル3」では53%であった。

○「レベル2」ではデータ項目ver.2のADLの状況・更衣(上衣)を「自分で行っていない」と回答した割合が70%であった。「レベル1」では97%であった。

※利用者票 問2(1)ADLの状況 更衣(上衣)とR4の整容・衣服のクロス集計

図表 8 【利用者票】整容 衣服(R4) × ADLの状況・更衣(上衣) (データ項目ver.2)

R4		データ項目ver.2	ADLの状況 更衣(上衣)			合計
			自分で行っている	自分で行っていない	無回答	
整容_衣服	1 (レベル1) 上衣の片袖を通すことを自分で行っていない	1	33	0	34	
		3%	97%	0%	100%	
	2 (レベル2) 更衣の際のボタンのかけはずしを自分で行っていないが、上衣の片袖を通すことは自分で行っている	15	35	0	50	
		30%	70%	0%	100%	
	3 (レベル3) ズボンやパンツの着脱を自分で行っていないが、更衣の際のボタンのかけはずしは自分で行っている	20	18	0	38	
	53%	47%	0%	100%		
4 (レベル4) 衣服を畳んだり整理することを自分で行っていないが、ズボンやパンツの着脱は自分で行っている	30	8	0	38		
	79%	21%	0%	100%		
5 (レベル5) 衣服を畳んだり整理することを自分で行っている	22	2	0	24		
	92%	8%	0%	100%		

※アセスメント様式の各選択肢別に割合の高い上位1つを橙色で表示している。

## (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

### B. アセスメント様式等の互換性調査(利用者調査) (3)基本動作

#### 【基本動作・座位での乗り移り】

○MDS方式・MDS-HC方式においてADL自立度(移乗)が「自立」の場合、データ項目ver.2の基本動作・座位での乗り移りを「自分でやっている」と回答した割合は95%であった。「準備のみ」では89%。「観察」では76%であった。

○「部分的な援助」ではデータ項目ver.2の基本動作・座位での乗り移りを「自分で行っていない」と回答した割合が61%であった。「広範な援助」では88%、「最大の援助」では91%、「全面依存」では98%であった。

※利用者票 問2(2)基本動作 座位での乗り移りとMDS方式・MDS-HC方式のADL自立度(移乗)のクロス集計

図表9 【利用者票】ADL自立度(移乗)(MDS方式・MDS-HC方式) × 基本動作・座位での乗り移り(データ項目ver.2)

MDS方式・MDS-HC方式		データ項目ver.2		基本動作 座位での乗り移り		合計
		自分でやっている	自分で行っていない	自分でやっている	無回答	
ADL自立度 移乗	0 自立:手助け, 準備, 観察は不要. 1~2回のみ	103 95%	4 4%	1 1%	108 100%	
	1 準備のみ:物や用具を利用者の手の届く範囲に置くことが3回以上	34 89%	4 11%	0 0%	38 100%	
	2 観察:見守り, 励まし, 誘導が3回以上, あるいは, 1回以上の観察と身体援助1~2回との組み合わせ(観察と身体援助合わせて3回以上)	31 76%	9 22%	1 2%	41 100%	
	3 部分的な援助:動作の大部分(50%以上)は自分でできる。四肢の動きを助けるなどの体重(身体)を支えない援助を3回以上。それ以上の援助1~2回との組み合わせ(身体援助が3回以上)。	15 39%	23 61%	0 0%	38 100%	
	4 広範な援助:動作の大部分(50%以上)は自分でできるが, 以下の援助を3回以上。体重を支える援助(たとえば, 四肢や体幹の重みを支える)。ある動作要素, あるいはすべての動作について全面援助。	2 12%	15 88%	0 0%	17 100%	
	5 最大の援助:動作の一部(50%未満)しか自分でできず, 以下の援助を3回以上。体重を支える援助(たとえば, 四肢や体幹の重みを支える)。ある動作要素, あるいはすべての動作について全面援助。	2 9%	20 91%	0 0%	22 100%	
	6 全面依存:まる3日間すべての面で他者が全面援助した	1 2%	57 98%	0 0%	58 100%	
	8 本動作は3日間の間に1回もなかった	1 25%	3 75%	0 0%	4 100%	

※アセスメント様式の各選択肢別に割合の高い上位1つを橙色で表示している。

## (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

### B. アセスメント様式等の互換性調査(利用者調査) (3)基本動作

#### 【基本動作・座位での乗り移り】

○居宅サービス計画ガイドライン方式において「移乗」が「介助されていない」場合、データ項目 ver.2で「自分で行っている」と回答した割合は96%、「見守り等」の場合、83%であった。「一部介助」、「全介助」の場合、「自分で行っていない」と回答した割合がそれぞれ52%、96%であった。

○包括的自立支援プログラム方式において「移乗」が「自立」の場合、データ項目 ver.2で「自分で行っている」と回答した割合は82%、「見守り」の場合、78%であった。「一部介助」、「全介助」の場合、「自分で行っていない」と回答した割合がそれぞれ81%、99%であった。

※利用者票 問2 (2) 基本動作 座位での乗り移りと居宅サービス計画ガイドライン方式、包括的自立支援プログラム方式の座位での乗り移りのクロス集計

図表 10 【利用者票】移乗(居宅サービス計画ガイドライン方式)  
× 基本動作・座位での乗り移り(データ項目 ver.2)

データ項目 ver.2		基本動作 座位での乗り移り			合計
		自分で行っている	自分で行っていない	無回答	
居宅サービス 計画ガイドライン方式	1 介助されていない	186 96%	6 3%	2 1%	194 100%
	2 見守り等	66 83%	12 15%	2 3%	80 100%
	3 一部介助	20 48%	22 52%	0 0%	42 100%
	4 全介助	2 4%	43 96%	0 0%	45 100%

※アセスメント様式の各選択肢別に割合の高い上位1つを橙色で表示している。

図表 11 【利用者票】移乗(包括的自立支援プログラム方式)  
× 基本動作・座位での乗り移り(データ項目 ver.2)

データ項目 ver.2		基本動作 座位での乗り移り			合計
		自分で行っている	自分で行っていない	無回答	
包括的 自立支援プログラム方式	1 自立	69 82%	15 18%	0 0%	84 100%
	2 見守り	62 78%	16 20%	1 1%	79 100%
	3 一部介助	33 19%	137 81%	0 0%	170 100%
	4 全介助	2 1%	305 99%	2 1%	309 100%

※アセスメント様式の各選択肢別に割合の高い上位1つを橙色で表示している。

## (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

### B. アセスメント様式等の互換性調査(利用者調査) (3)基本動作

#### 【基本動作・座位での乗り移り】

○R4において基本動作が「レベル5」の場合、データ項目ver.2の基本動作・座位での乗り移りを「自分で行っている」と回答した割合は92%であった。「レベル4」では77%であった。

○「レベル3」ではデータ項目ver.2の基本動作・座位での乗り移りを「自分で行っていない」と回答した割合が55%であった。「レベル2」では86%、「レベル1」では97%であった。

※利用者票 問2 (2) 基本動作 座位での乗り移りとR4の基本動作のクロス集計

図表 12 【利用者票】基本動作(R4) × 基本動作・座位での乗り移り(データ項目ver.2)

R4		データ項目ver.2		合計	
		基本動作	座位での乗り移り		
		自分で行っている	自分で行っていない	無回答	
基本動作	1 (レベル1) 寝返りは行っていない	1 3%	28 97%	0 0%	29 100%
	2 (レベル2) 座位の保持は行っていないが、寝返りは行っている	2 14%	12 86%	0 0%	14 100%
	3 (レベル3) 座位での乗り移りは行っていないが、座位の保持は行っている	22 45%	27 55%	0 0%	49 100%
	4 (レベル4) 立位の保持は行っていないが、座位での乗り移りは行っている	43 77%	13 23%	0 0%	56 100%
	5 (レベル5) 両足での立位の保持を行っている	33 92%	3 8%	0 0%	36 100%

※アセスメント様式の各選択肢別に割合の高い上位1つを橙色で表示している。

## (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

### B. アセスメント様式等の互換性調査(利用者調査) (4)見当識

#### 【見当識・自分の名前がわかりますか】

○居宅サービス計画ガイドライン方式において自分の名前を答えることが「できる」場合、データ項目ver.2の見当識「自分の名前がわかりますか」について「はい」と回答した割合は97%、「できない」場合も「はい」と回答した割合は58%であった。

○包括的自立支援プログラム方式において自分の名前を答えることが「できる」場合、データ項目ver.2で「はい」と回答した割合は98%であった。「できない」場合、「いいえ」と回答した割合は56%であった。

※利用者票 問2(18)「見当識 自分の名前がわかりますか」と居宅サービス計画ガイドライン方式の「自分の名前を答える」、包括的自立支援プログラム方式の「自分の名前を答えることができる」のクロス集計

図表 13 【利用者票】自分の名前を答える(居宅サービス計画ガイドライン方式) × 見当識・自分の名前がわかりますか(データ項目ver.2)

居宅サービス 計画ガイドライン方式	データ項目ver.2	見当識 自分の名前がわかりますか				合計
		はい	いいえ	不明	無回答	
自分の名前を答える	1 できる	332 97%	4 1%	1 0%	5 1%	342 100%
	2 できない	11 58%	4 21%	4 21%	0 0%	19 100%

※アセスメント様式の各選択肢別に割合の高い上位1つを橙色で表示している。

図表 14 【利用者票】自分の名前を答えることができる(包括的自立支援プログラム方式) × 見当識・自分の名前がわかりますか(データ項目ver.2)

包括的 自立支援プログラム方式	データ項目ver.2	見当識 自分の名前がわかりますか				合計
		はい	いいえ	不明	無回答	
自分の名前を答えることができる	1 できる	487 98%	8 2%	3 1%	1 0%	499 100%
	2 できない	40 28%	80 56%	23 16%	0 0%	143 100%

※アセスメント様式の各選択肢別に割合の高い上位1つを橙色で表示している。

## (4). 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業

### B. アセスメント様式等の互換性調査(利用者調査) (4)見当識

#### 【見当識・自分の名前がわかりますか】

○R4において認知機能・オリエンテーション(見当識)が「レベル5」の場合、データ項目 ver.2の見当識「自分の名前がわかりますか」について「はい」と回答した割合は100%であった。「レベル4」では98%、「レベル3」では95%、「レベル2」では80%であった。

○「レベル1」ではデータ項目 ver.2の見当識「自分の名前がわかりますか」について「いいえ」と回答した割合が56%であった。

※利用者票 問2(18)「見当識 自分の名前がわかりますか」とR4の認知機能・オリエンテーション(見当識)のクロス集計

図表 15 【利用者票】認知機能 オリエンテーション(R4) × 見当識・自分の名前が分かりますか(データ項目 ver.2)

R4		データ項目 ver.2	見当識 自分の名前がわかりますか				合計
			はい	いいえ	不明	無回答	
認知機能オリエンテーション_見当識	1 (レベル1)自分の名前がわからない		2 22%	5 56%	2 22%	0 0%	9 100%
	2 (レベル2)その場にいる人がだれだかわからないが、自分の名前はわかる		24 80%	3 10%	3 10%	0 0%	30 100%
	3 (レベル3)場所の名称や種類はわからないが、その場にいる人が誰だかわかる		37 95%	2 5%	0 0%	0 0%	39 100%
	4 (レベル4)年月日はわからないが、現在いる場所の種類はわかる		56 98%	1 2%	0 0%	0 0%	57 100%
	5 (レベル5)年月日がわかる		48 100%	0 0%	0 0%	0 0%	48 100%

※アセスメント様式の各選択肢別に割合の高い上位1つを橙色で表示している。